

# 小学校再編整備計画検討委員会が発足

委員はPTA、自治会、学校関係者など20名

## 計画素案

(前期5年) 16校 ▽ 11校に  
(後期5年) 11校 ▽ 9校に 再編

「第1回小学校再編整備計画検討委員会」が11月7日、市中央公民館で開かれ、市立小学校を適正規模に再編する計画についての議論が始まりました。



▲検討委員に委嘱状を手わたす岸部市長（11月7日）

市立小学校の学校数は現在、鷹巣地区が7校、合川地区4校、森吉地区3校、阿仁地区2校の16校。児童数は、昭和34年の1万1千147人をピークに減少傾向に転じ、平成17年度は1938人と、20%以下にまで減少し、学校の小規模化が顕著になっています。

市教育委員会では、このような現状を踏まえ、昨年8月、学校の小規模化によって学校運営や指導態勢に難しさが生じてきていることや、今後到来する校舎の改築に備えるため、小学校再編整備計画プロジェクトを設置、市立小学校の適正規模・適正配置等について検討を重ねてきました。

検討委員会は、市教委がプロジェクトでまとめた再編整備計画の素案を地域住民に示し、今後の学校のあり方などに意見を出してもらおうための組織として発足したものです。

初会合となったこの日の検討委員会では、岸部市長が委員一人ひとりに委嘱状を交付したあと、市教育委員会の

三澤教育長が、ピーク時から9千人もの児童が減った状況に触れながら、集団教育を維持し、適正な学校環境を整備するために再編計画が必要であることを説明、検討会に入りました。

検討委員は、各地区のPTA、自治会、学校関係者などから選出された20名。はじめに互選により委員長、副委員長を決めたあと、議事に入りました。

委員からは「素案はよくまとまっているが、子どもの視点も入れ検討すべき」「小規模校ならではの良さもある。複式学級についても、メリット、デメリットの両方について説明してほしい」などの意見が出されました。

素案は平成18年度から27年度までの10年計画。前期5年で現在の16校を11校に、後期でさらに2校を統合し、9校に再編することとしています。

検討委員会ではこの後年度内に3回

- 委員会を開催し、まとめた意見を岸部市長に答申します。
- 委員は次のとおりです。（敬称略）
- 鷹巣地区
    - 櫻庭圭介 秋元優香子 菅原久美子
    - 島山孝秀 中嶋浩文 佐藤禎司
    - 佐藤光悦（副委員長）
  - 森吉地区
    - 伊藤幸信 柳山敏幸（委員長）
    - 三浦富雄
  - 阿仁地区
    - 佐藤信夫 松橋時美
  - 合川地区
    - 正田武志 松岡良寿
    - 山岡多郎右工門 島山俊明
  - 市内一円
    - 出川幸三 萩野秀実 松橋悦子
    - 佐藤征太郎

今後10年間の小学校再編構想(案)		
現状 17年度	前期 18~22年度	後期 23~27年度
鷹巣	鷹巣	鷹巣 (既存校舎)
鷹巣西	鷹巣西	
鷹巣東	鷹巣東	鷹巣東
綴子	綴子	綴子
鷹巣中央	鷹巣中央	鷹巣南 (新築)
竜森	鷹巣南 (既存校舎)	
鷹巣南		
米内沢	米内沢 (既存校舎)	米内沢 (新築)
浦田		
前田	前田	前田
阿仁合	阿仁合	阿仁合
大阿仁	大阿仁	大阿仁
合川東		
合川西	合川 (新築)	合川
合川南		
合川北		
16校	11校	9校

平成20年春開催（会場：北欧の杜公園）  
第59回全国植樹祭シンボルマーク

愛称は「森っち」に決定！

ポスター原画最優秀賞は、藤本勝繁君(竜森小5年)が受賞

ポスターの原画は、豊かな森の巨木を描いた作品

平成20年春に開催予定の第59回全国植樹祭のシンボルマークの愛称と大会ポスターの原画がこのほど決定し、県の全国植樹祭推進室から公表されました。

昨年募集されたシンボルマークは、市原麻奈美さん（東京都）の作品が選ばれ、このマークのイメージにふさわしい愛称が平成18年4月24日から8月31日の期間、県内で募集され、選考が行われていたものです。応募数は518点。審査の結果、最優秀賞には、湯沢市立秋ノ宮小学校2年の菅真帆さんの作品「森っち」に決定しました。

大会ポスターに使われる原画は、6月23日から9月8日の期間、県

内の小・中・高等学校を対象に公募されました。応募数は45点。最優秀賞には本市・竜森小学校5年の藤本勝繁君の作品「大きな木をかこんで」が選ばれました。また竜森小は、大阿仁小学校とともに特別賞を受賞しています。

受賞した藤本君の作品は、豊かな森の中でブナの巨木を数人の子どもたちが手を回し、その大きさを体感している構図。昨年の夏休みに訪れた白神山・岳岱（藤里町）のブナ風景林のブナの木をみんなで囲んだときの記憶に、これまで訪れた森の樹木のイメージを重ね合わせて描いたそうです。

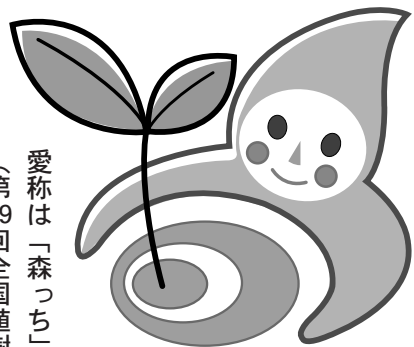
大会ポスターは、藤本君の原画をもとに来年度制作され、全国の関係機関などに配布されることになっています。

## 推奨認定特産品45品目をご紹介します

特産品の需要の拡大及び品質の向上を図ることを目的として今年度からスタートした「秋田市特産品推奨認定制度」で、推奨品として認定された特産品45品目をご紹介します。（この制度の概要と審査の様態を広報きたあきた11月16日号に掲載しています）

### ■食料品（41品目）

- ▽樹氷の雫
- ▽いぶりたけのこ
- ▽なんこ鍋
- ▽マタギの里
- ▽りんごっこジュース
- ▽マタギの里焼きりんご
- ▽清酒「安の滝」
- ▽純米酒「安の滝」
- ▽純米酒「阿仁川」
- ▽マルメロケーキ
- ▽笑内
- ▽ル・テセル
- ▽天鳴太鼓
- ▽焼きあゆ
- ▽太鼓のサブレ
- ▽さる倉焼
- ▽異人館物語
- ▽比内地鶏卵油
- ▽カルシウム卵油
- ▽スツボン卵油
- ▽烏骨鶏卵マヨネーズ
- ▽そばだまこセット
- ▽あゆうるか
- ▽あゆ甘煮
- ▽あゆずし
- ▽わさび漬スパウト
- ▽わさびのりスパウト
- ▽わさび味噌スパウト
- ▽わさびテトラセット
- ▽山女魚甘露煮
- ▽秋田グルメみそ
- ▽きりたんぼ鍋セット
- ▽ししとうラーメン
- ▽ししとうソフト
- ▽太鼓まんじゅう
- ▽比内地鶏スープ
- ▽比内地鶏ご飯
- ▽竜ヶ森
- ▽縄文の跡
- ▽くるみ館餅
- ▽森吉の月
- ▽米代うどん
- 工芸品（4品目）
- ▽山刀
- ▽フラワーボックス
- ▽又鬼山刀
- ▽フクロナガサ



愛称は「森っち」  
(第59回全国植樹祭シンボルマーク)



最優秀賞を受賞した藤本勝繁くん（竜森小5年）と受賞作品「大きな木をかこんで」

